

# Driveman<sup>®</sup> BS-8a 保証書

お買い上げの日から1年間、故障が発生した場合には販売店サービス窓口または弊社ドライブマン事業部に修理をお申しあげください。無料にて修理または、弊社判断により製品交換をさせていただく場合がありますので、あらかじめご承知ください。  
保証期間内であっても以下の場合には有料とさせて頂きます。

- この保証書の添付がない場合。
- 保証書に販売店名、お客様の名前、保証開始の日付記載が無い場合。
- (2)の記載内容が書き換えてある場合。
- 使用上の誤り、改造、修理などのあとが見受けられる場合。
- 落水、水没、取扱場所の移設などが原因とする故障の場合。
- 天災、地震、風水害、落雷、その他の自然災害、第三者による行為での故障及び破損。
- ドライブレコーダー以外の用途に使用した場合。
- 部品の消耗や磨耗が原因の故障の場合。
- お客様の要望による出張修理を行う場合の出張料金。
- 業務用の場合は、
- 接続している他の機器及び不適切な使用に起因して生じた故障及び破損。

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行致しません。

製品保証はドライブマン本体に限定されます。SDカードは消耗品です。保証対象外となります。  
記録媒体の映像記録やメモリーなどが使用中、あるいは使用後、何らかの事情でその記録内容が消去、破壊された場合には弊社はその責任を一切負うものではありません。弊社の責任と保証は製品を限度とします。  
本製品は事故の検証に役立つことを目的とした製品ですが完全な証拠として効力を保証する物ではありません。  
本製品の故障又は使用により生ずる直接、間接の損害及び付随的損害については弊社は一切責任を負いません。



ドライブマン事業部 アサヒリサーチ株式会社  
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-13  
弊社ホームページ <http://www.driveman.jp> support@driveman.jp

(キリトリ線)

## してはいけない内容

- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。
- 本機背面のゴムカバーを開けて専用アクセサリー以外の物は使用しないでください。発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしない下さい。
- 本機の操作は運転前か終了後に行って下さい。
- 他社製のUSBケーブルを接続するとドライブマンが故障する場合があります。必ず同梱の専用USBケーブルをご使用下さい。
- 画面(LCD)には、絶対に衝撃を加えないで下さい。衝撃を加えるとパネルが割れ、火災、感電、けがの原因となります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、動作不良などの原因となります。また、お客様による分解、改造をした結果発生した故障等については、保証期間内であっても有償修理となります。
- micro USBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- micro USBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因になります。
- 電源プラグはしっかり根元まで確実に差し込んで下さい。差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- コンセントに差したまま micro USB ケーブルのプラグ部分に触れたり、何か物を接触させたりしないで下さい。火災、感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因になります。
- 濡れた手で、電源プラグに触らないで下さい。感電の原因になります。
- micro USB ケーブルを改造したりしないで下さい。火災、感電の原因になります。
- micro USB ケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないで下さい。火災、感電の原因になります。
- お手入れをされる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になることがあります。

## その他、注意事項

- 防水性能は、前方からの雨を防ぐ構造になっています。60km/時のスピードで15分間の雨水を想定しています。本体背面を水のあたる方向(場所)に設置しないで下さい。
- 雨天のご使用は、お勧めいたしません。早めに収納して下さい。
- micro SDカードは消耗品です。耐用年数は毎日使用した場合約1年間です。(使用環境により異なります)
- 本機保管時と本機使用時の温度差がある場合はレンズ部、照明部が曇る場合があります。
- レンズが汚れていると綺麗な映像を得られません。お手入れは、柔らかい布等で汚れをお取りください。
- 満充電の状態で、長期間(一ヶ月以上)保管しないで下さい。充電が80%~50%程度(本体LEDライト緑点灯)で保管して下さい。
- レンズの曇りは本体の温度と外気の温度差により発生する場合があります。曇った場合は、本体背面のゴムカバーを開いた状態で乾燥剤とともに密閉性のあるビニール袋などに入れて48時間以上放置して下さい。
- 本体背面にある磁石は強力な為、プラケットに吸着されるときは指が挟まらないように気を付けて下さい。磁気カード等磁石により影響を受けやすいものを近づけないで下さい。
- 満充電で保管した場合、電圧が上昇し電池が膨らみ使用不可能になる場合がございます。
- ご不要になった場合は、本機の背面(ゴムカバー)を開いた状態で塩水に2~3日つけて完全に放電させてから燃えないごみとして、廃棄してください。
- 万が一、何らかの理由により録画されなかった場合の録画内容の保証については弊社は一切のその責任を負いません。

## 電波関係

- 強い電波の近くでは映像が乱れる場合があります。
- 放送局(TV、AM、FMラジオ)送信電波塔や、無線局【業務局、アマチュア無線局、高出力27MHz帯不法民ラジオ等】基地局、移動局等の近くでは、強力な電波により録画映像の乱れや音声に無線の電波が飛び込むことがあります。電子レンジ等の強力な電波発生源も映像乱れの原因になります。
- ETCなどの配線にドライブマンが干渉する場合があります。
- 影響の出ない所に設置して下さい。

1-0033-01

## 1.梱包内容の確認

梱包内容		
本体	プラケット	micro USBケーブル AC充電器
micro HDMI ケーブル	脱落防止 ストラップ	micro SD カード (Class 10以上)
		取扱説明書 保証書 1枚
オプション		
ウインドジャマー (風切音軽減)	三脚プラケット	ハンドルアダプタ

※パッケージに上記のものがすべて揃っているかご確認ください。

※本体以外はオプションでお買い求めいただけます。

※同梱されている純正品をご使用下さい。

他の製品を使ってのご使用は動作保障いたしません。

### ※使用前に必ず時計設定をしてください。

動画ファイルの上書きは常に micro SD カード内で一番古いファイルを削除して行います。本体時計設定が狂っていると正常にファイルの上書きが出来ない場合があります。

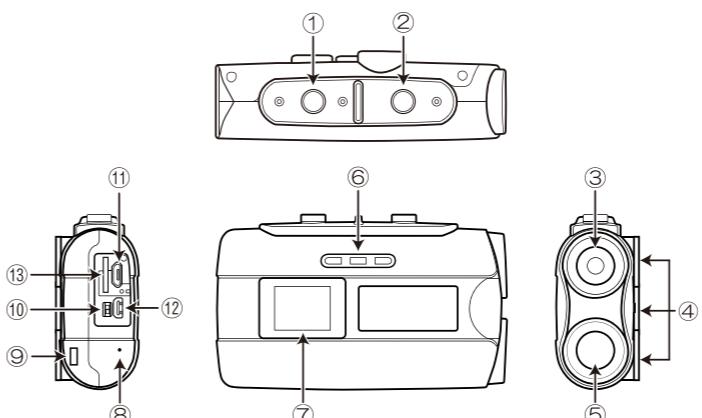
### ※ micro SD カードのご使用について

ドライブレコーダーで使用する micro SD カードは、デジタルカメラ等と異なり過酷な環境(常時書き込み、温度変化)で使用しています。

micro SD カードは消耗品ですので、毎日乗車(撮影)する場合約1年ぐらいを目安に買換えることをお勧めします。

### 3ヶ月から半年に1回はフォーマットすることをお勧めします。

## 2.各部名称



- |                     |                                        |
|---------------------|----------------------------------------|
| ① 電源 / 決定 ボタン       | ⑧ マイク                                  |
| ② 選択 / ライト ボタン      | ⑨ ストラップ 取付け口                           |
| ③ カメラレンズ            | ⑩ ON / OFF スイッチ (上ON/下OFF)             |
| ④ プラケット取付部 (ネオジム磁石) | ⑪ micro USB 電源ケーブル接続部<br>(充電用 / PC接続用) |
| ⑤ 照明用LEDライト         | ⑫ micro HDMIケーブル接続部 (TV接続用)            |
| ⑥ LEDランプ            | ⑬ micro SDカードスロット                      |
| ⑦ 画面 (LCD)          |                                        |

## 3. LED ランプ表示

左 LED	中央 LED	右 LED
赤 点滅 録画中		赤 点灯 充電中
緑 点灯 (充電レベル) 100%~80%	緑 点灯 (充電レベル) 80%~50%	赤 点滅 (充電レベル) 残り約1時間

## 4.充電

1.本体にmicro USBケーブルを差し込んで下さい。(図1)  
※充電をするには、約3時間かかります。



(充電レベル80%以上) (充電中は右LEDが赤点灯します)

2.満充電で消灯します。

※専用の充電器以外は、ご使用しないでください。

### 5.micro SD カードの挿入

1.micro SDカードを正しい方向で入れて下さい。(図1)



注1) micro SDが入っていないと警告音が鳴り本体の電源が切れます。

注2) 録画中は絶対にmicro SDカードを抜かないでください。micro SDカードが破損する恐れがあります。

注3) 録画中にmicro SDカードを抜くと最終ファイルが記録されません。録画停止確認後micro SDカードを抜いてください。

## 6. ブラケット、本体取付

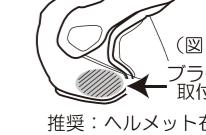
1.本体は、ヘルメット右側面に取付けられるように設計されていますが、お客様のご使用用途により任意の場所に取付けて下さい。

2.脱落防止ストラップを本体とブラケットに取付けます。

本体の⑨ストラップ取付け口にストラップを通して取付けます。ブラケットの締付けネジを外し、ストラップをネジに通して締めつけて下さい。



3.ブラケットの羽根部分をヘルメットのカーブに添わせるように折り曲げて下さい。折り曲げやすいように溝があります。(図2)



4.両面テープの保護シートを剥がして、ヘルメットに貼り付けます。(図3)

※ヘルメットに貼り付ける際には、よく貼付面の汚れを拭き取って下さい。

※ブラケットの両面テープは、本来の粘着力が出るまでには一日ほどかかりますので、貼付後はあまり大きな力をかけないで放置してください。



5.本体に4つの強力な磁石が埋め込まれていますので、この磁石でブラケットに吸着させます。

6.ブラケットの突起部分が前に来るよう取付けます。(図4)

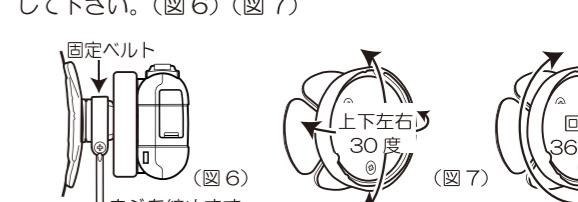
7.本体を上向きに取付けて、下に倒すと本体が止まる位置がありますので、その位置が正しい位置となります。(図5)

※ブラケットの保護フィルムを剥がしてからご使用してください。

※取り付ける際は、指が挟まらないようにご注意ください。



8.ブラケットは、固定ベルトのネジを緩めると、自由に動かすことができます。撮影する方向、角度を決定しましたらネジを締めて固定して下さい。(図6)(図7)



9.本体とブラケットの脱落防止ストラップ結合部をつなぎ合わせます。